

あなたと病院をつなぎます  
静岡県立総合病院

# 病院だより

第23号



見て・知って・触って・ワクワク体験

## 「県総オープンホスピタル」大にぎわい

当院は、昭和58年2月1日の開院以来、静岡県の中核病院として、歩んでまいりました。今年度からは地方独立行政法人 静岡県立病院機構として、新たな一歩を踏み出したところです。そこで開院月である2月に、県民の皆様を対象とした施設開放事業として「県総オープンホスピタル」を初めて開催しました。当日（2月11日）はあいにく冷たい雨が降る天候でしたが、千人を超える方々にご参加いただきました。手術の模擬体験や大型医療器械の見学、各種講演会など約30種類の企画が催され、来場者の方々に楽しんで頂きました。手術の模擬体験コーナーでは、若手医師が実際に訓練で利用する手術シミュレーターを用いたバーチャル手術体験が、お子様を中心に人気を集めました。

ブースNo	種別	イベント名	内容	開始時間	終了時間
1	11時～12時	観音車展示	観音車の中に入ってみたり、その構造を覗いたりします。	12:00	16:00
2	11時～12時	ロボット手術	ロボット手術の仕組みや、実際の手術の様子を見学します。	12:00	16:00
3	11時～12時	放射線治療	放射線治療の仕組みや、実際の治療の様子を見学します。	12:00	15:00
4	11時～12時	放射線治療	放射線治療の仕組みや、実際の治療の様子を見学します。	12:00	16:00
5	11時～12時	健康相談	健康相談、健康相談コーナー。	12:00	15:30
6	11時～12時	健康相談	健康相談、健康相談コーナー。	12:00	16:00
7	11時～12時	健康相談	健康相談、健康相談コーナー。	12:00	16:00
8	11時～12時	健康相談	健康相談、健康相談コーナー。	12:00	16:00
9	11時～12時	健康相談	健康相談、健康相談コーナー。	12:00	16:00



うまく手術  
できたかな!?



超音波装置を用いて、自分の首の血管の様子をみるコーナーでは、大型モニターに映し出される自分の血管に、驚かれ、興味津々の様子で見られてました。イベントに先立ち、午前中には長崎国際大学学長、前熊本県知事である潮谷義子先生をお招きし、「いのちにより添う」と題した記念講演会を開催致しました。

「県総オープンホスピタル」は今回が初めての開催でしたが、ご参加いただいた方々のご意見等を参考に、次回開催へ繋げていきます。



たくさんのご参加  
ありがとうございました



## がん化学療法看護認定看護師からのお知らせ 味覚障害による食欲低下がある患者さんへ

抗がん剤の副作用で起きる食欲低下の原因は、主に舌の味を感じ取る細胞が傷害されるためといわれています。治療後もしばらく「味がわかりにくい」「甘い味ばかり感じてしまう」等の症状が続き、なかなか食べられず辛い思いをしている患者さんも多くいらっしゃいます。



入院中や治療中に、常備しておくの良い食べ物として

- カボスや柚子（最近絞りを瓶詰めにして売っています）  
これらは、味噌汁や煮物に少し入れる事で香りよく、酸味が効きます。
- レトルトカレー（少量のレトルトパックになったものがスーパー等で売られています）  
ご飯やパンにカレー味を少し足す事で食べられる方が多いです。
- お茶漬けのもと  
お茶漬けにはせず、ふりかけとして使います。ご飯やお粥に直接かけると、あられの香ばしさを感じて食べられます。

色々な工夫をする事で、少しでも沢山食べられると、気持ちも明るく、元気が出てきますよ。治療中の副作用を、一緒に乗り切っていきましょう！！

## 小児科外来診察室 装い一新 診察中も「動物と一緒に」

子供の心の問題が指摘されている現在、子供を病院嫌いにさせず、子供の緊張感をなるべく軽減させる診察環境の整備は大変重要です。病院らしくない病院、子供が病気をなるべく意識せず過ごせるような診察環境の整備を行いました。

小児科外来診察室の壁面には、「野生動物の住む世界」をテーマにカラフルなカッティングシートや合板、アクリル板などを貼り、鳥やサル、象などが憩う様子を表現しています。一部には動物の模型をマグネットで付けるなど、立体感を持たせた装飾となっています。マグネットでの取り付けのため、子供は触って動かすこともできます。また、動物を木の絵の中に隠すように配置したり、しっぽなどの一部のみを描くことにより、子供の想像力をかきたて、飽きがこない工夫をしています。



## がん診療情報をわかりやすく提供 がん医療公開講座を開催しました

地域がん診療連携拠点病院に指定されている当院では、診療の大きな柱として、がん医療に力を注いでいます。

今回、広く県民の皆様には最新のがん治療の状況を知っていただき、がんの早期発見・治療が大切であることを理解していただくため、「がん医療公開講座」を開催しました。

今年で5年目の開催ですが、実際にはがんの研究、診療に携わる医師が、最新の診療情報などをわかりやすく皆様に提供しています。



H22年1、2月にグランシップで開催



## ご意見箱から 患者様の声におこたえします(第19回)



患者様からのご意見箱を院内の9箇所（本館地下1階、玄関ホール、1・3・4・5・6階、北館1階）に設置しています。患者様のご意見を受けて、実施したこといくつかをお知らせします。

- 「事故で受診した際、頭の擦り傷は縫う程ではないのでガーゼによる止血のみだったが、口の中に切り傷があり、口腔外科も受診することとなった。移動しようとしたときに、ガーゼの表面に血が染み出ていたので、カウンターの看護師さんにそのことを伝え、『大丈夫です。そのまま押さえてください。ガーゼは薬局とかに売っているので、買って行ってそれを使ってください。』と言われ、啞然としてしまった。」とのご意見がありました。
- ガーゼの表面に血液が染み出て気にしておられるのだから、傷を押さえ続けていただくためにも、ガーゼの上に当てる新しいガーゼをお渡しするなどの配慮が必要であったと考えます。今後は、患者さまやご家族からの相談にしっかりと耳を傾け、丁寧に対応するように指導してまいります。
- 「入院等で診断書などの発行を依頼したとき、書類の受け取りは郵送にして欲しい。依頼の際に手数料や発送料を支払えたら良いと思います。」とのご意見がありました。
- これまで、遠隔地にお住まいの方のみに郵送の対応をしていましたが、患者さまの要望により郵送できるように対応を考えたいと思います。
- 「『後で行きます』という返事でなかなか来ない。コールもしっかり聞き取れない。老人は耳が遠いので、もう少し大きな声で対応してください。明るさが無く暗い職員が多い。」とのご意見がありました。
- ご迷惑をお掛けして申し訳ありませんでした。『後で』ではなく、何分後等具体的に訪室時間の目途をお伝えするようにしました。また、笑顔で、はっきりとした言葉で対応できるよう心掛けてまいります。
- 「私達はもう3ヶ月も入院していますが、きめ細かく、とても親切に看護していただき、心がなごむ気持ちで一杯です。書けばきりが無いほど親切にいただきありがとうございます。」との感謝の声が寄せられました。
- 患者さまのお役に立てて大変嬉しく思います。今後とも、患者さまのお力になれるよう、職員一同努力してまいります。

病院だよりでは、患者様へ院内の様々な情報を提供しております。病院だよりに関するご意見等がありましたら下記までご連絡ください。

発行：静岡県立総合病院 広報委員会  
〒420-8527 静岡市葵区北安東4-27-1  
電話番号 054-247-6111(代表) FAX番号 054-247-6140  
ホームページ <http://www.shizuoka-pho.jp/sogo/>